

第32回 多摩消化器シンポジウム

Tama Symposium of Gastroenterology

プログラム

テーマ

「肝腫瘍」

代表世話人	杏林大学	学長	跡見 裕
	杏林大学	第三内科教授	高橋 信一
特別顧問	杏林大学	名誉教授	青柳 利雄
	国際医療福祉大学	学長	北島 政樹
	公立昭和病院	名誉院長	荒木 駿二

会 期 平成25年2月16日(土) 14:00~18:35
場 所 クレストホテル立川 3階「富士の間」
〒190-0022 立川市錦町1-12-1 TEL 042-521-1111

当番幹事

国家公務員共済組合連合会	立川病院	外科	鈴木 文雄
国家公務員共済組合連合会	立川病院	内科	塩崎 裕士

共 催 多摩消化器シンポジウム/エーザイ株式会社

商品紹介 「パリエット錠 10mg」 エーザイ株式会社 14:00～14:10

開会の辞・当番幹事挨拶 14:10～14:15

国家公務員共済組合連合会 立川病院 内科 塩崎 裕士先生

第一部 シンポジウム 14:15～15:43

発表 7 分・質疑 4 分

座長 国家公務員共済組合連合会立川病院 内科 塩崎 裕士先生
杏林大学

1. 肝切除後術後に悪性転換を起こした肝類上皮血管内皮腫の 1 例

東海大学医学部附属八王子病院 消化器内科

小嶋清一郎 高清水眞二 伊藤裕幸 市川仁志 永田順子

矢崎利典 水上 創 白井孝之 渡辺勲史

2. A Hepatic Mass in a 74-Year-Old Man

東京都立多摩総合医療センター 外科¹⁾、検査科・病理²⁾

仁田 淳¹⁾ 板垣信吾²⁾ 江夏一彰²⁾ 足立健介¹⁾

3. 門脈腫瘍栓を伴う HCC に対し、TACE が有効であった一例

国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科

田島佑樹 谷 紀幸 金岡里枝 井上正純 田渕 悟 岩丸有史

秋山芳伸 服部裕昭 山本達也 鈴木文雄 大高 均

4. Sorafenib が著効した門脈浸潤合併原発性肝癌の 2 症例

青梅市立総合病院 消化器内科

沼田真理子 松本有加 渡部太郎 細谷明德 吉岡篤史 伊藤ゆみ

濱野耕靖 野口 修

5. 当科における肝細胞癌に対するソラフェニブの治療経験

東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科

佐野 達 高野公德 富田晃一 千葉斉一 河地茂行 島津元秀

6. **多クローン性高 γ グロブリン血症を呈した原発性肝細胞癌の1例**

東京慈恵会医科大学附属第三病院 総合診療部¹⁾、外科²⁾

中村文昭¹⁾ 泉 祐介¹⁾ 関 正康¹⁾ 吉川哲矢¹⁾ 山田高広¹⁾

岡本友好²⁾ 平本 淳¹⁾

7. **肝原発悪性リンパ腫の一例**

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 消化器・乳腺外科

石黒深幸 斉藤洋之 吉田直樹 真崎純一 大森敬太 石橋雄次

渡邊慶史 若林和彦 伊藤豊

8. **肝 pseudo lymphoma の1例**

東京都立多摩総合医療センター 内科

唐鎌優子 武井ゆりあ 小橋健一郎 中島佑至 大川 修 中谷行宏

楠 隆昌 穴戸華子 横田拓也 堀部昌靖 肱岡悠子 吉野耕平

堀家英之 並木 伸 竹縄 寛 芝 祐信

—休憩 10分—

第二部 シンポジウム

15:53~17:10

発表7分・質疑4分

座長 国家公務員共済組合連合会立川病院 外科

先生

杏林大学

9. **肝細胞癌破裂を疑い緊急TAEを行った症例の検討**

独立行政法人国立病院機構 災害医療センター 消化器内科

島田祐輔 田中匡実 林 昌武 上市英雄 川村紀夫 平田啓一

10. **当院におけるRFAの現状**

町田市民病院 消化器科

益井芳文 和泉元喜 土谷一泉 大熊幹二 野口正朗 林 依里

日高章寿 内田苗利 谷田恵美子 吉澤 海 白濱圭吾 金崎 章

1 1. **C型慢性肝炎治療後 SVR 症例に合併した細胆管細胞癌の1切除例**

公立昭和病院

消化器内科 永田紘子 平沼衣梨 柴田 勇 間渕一壽 佐野智彦
浦牛原幸治 小野圭一 小島 茂 武田雄一 野内俊彦
外科 三木健司 照屋正則
病理診断科 清水誠一郎

1 2. **肉腫様肝癌の1切除例**

武蔵野赤十字病院 外科

高松 督 油谷知毅 瀬戸克年 今井紳一郎 杉谷郁子 加藤俊介
長野裕人 大司俊郎 嘉和知靖之 丸山 洋

1 3. **Liver hanging maneuver と中肝静脈肝外剥離を併用した肝左葉切除術**

杏林大学 消化器・一般外科

横山政明 中里徹矢 鈴木 裕 松岡弘芳 阿部展次 正木忠彦
森 俊幸 杉山政則

1 4. **Wilson 病に肝細胞癌を合併した 64 歳女性例**

国家公務員共済組合連合会 立川病院 内科

白井 俊 長田高志 太田晃一 清原裕貴 原 渉 舘桂一郎
宮澤正治 塩崎裕士 柏崎一男 篠原幸人

1 5. **小型肝細胞癌の総合画像診断 ～悪性度の診断に注目して～**

武蔵野赤十字病院 消化器科

安井 豊 土谷 薫 松田秀哉 中田 徹 村岡 優 鈴木雄一朗
玉城信治 鈴木祥子 細川貴範 西村貴士 上田 研 中西裕之
板倉 潤 黒崎雅之 泉 並木

第三部 特別講演

17:20～18:20

座長 国家公務員共済組合連合会 立川病院 内科部長 柏崎 一男先生

『肝細胞癌のMRI』

信州大学医学部 画像医学講座

教授 角谷 眞澄先生

表彰式

18:20～18:30

第31回多摩消化器シンポジウム優秀論文表彰

杏林大学 第三内科 教授 高橋 信一先生

「下部胆管狭窄を来した自己免疫膵炎の4例」

青梅市立総合病院 消化器内科 松本 有加先生

閉会の辞

18:30～18:35

国家公務員共済組合連合会 立川病院 外科 鈴木 文雄 先生

*尚、会終了後 立食による情報交換の場をご用意致しております。

参加各位へのご案内

1) 受付 (3F)

開始60分前より会場前の受付にて行います。

出席者名簿にご記帳いただき、参加費として1000円をお支払ください。

2) 単位認定

当シンポジウムは日本医師会生涯教育制度の4単位

カリキュラムコード8単位(15:臨床問題解決のプロセス、18:全身倦怠感、19:身体機能の低下、21:食欲不振、22:体重減少・るい瘦
27:黄疸 53:腹痛 73:慢性疾患・複合疾患の管理)が認定されております。

3) その他

本会終了後、立食による情報交換会を予定しております。

発表各位へのご案内

1) 口演時間

一般演題は全演題「口述発表」です。発表時間は口演7分、質疑応答4分の合計11分です。

時間厳守でお願い致します。

2) PCの受付等

受付にて出席者名簿にご記帳ののち、お申し付けください。

プレゼン枚数に制限はありませんが、映写面は1面のみです。

PC本体をご持参いただく場合、出力端子はMini-D-sub15ピン直付けのみとなります。変換コネクタが必要な機種をご使用の場合は、PC本体とともにご持参ください。

PCソフトはMicrosoft PowerPoint 2010をご用意しております。

FD, CD-R, DVD-R, USBメモリー等で資料持参される際は、事前にご連絡ください。

MacはPC本体をご持参ください。

口演の30分前にはPCの受付をお済ませください。

3) 発表演題の投稿

口演内容は「多摩消化器シンポジウム誌」へ掲載いたします。

投稿規程、原稿提出期日などは当日PC受付にてお渡しいたします。

<ザ・クレストホテル立川の交通ご案内>

東京都立川市錦町 1-12-1 電話 042-521-1111

電車利用 JR 中央線「新宿駅」から約 27 分、「東京駅」から約 42 分

多摩都市モノレール「多摩センター駅」から約 22 分

※いずれも立川駅までの所要時間

JR 中央線「立川駅」南口より徒歩 7 分

多摩都市モノレール「立川南口駅」より徒歩 8 分

車利用 中央自動車道「国立府中」I.C.より約 20 分(5.4km)

